

# 府本PRIDE No.4

発行 荒尾市立府本小学校

荒尾市樺 2313 番地 2

Tel 0968(68)0004 fax (68)0802



令和7年7月7日 (月)

## 季節の移ろい

ここ数日の暑さは体に応えますね。夜更けにエアコンが切れるときで目が覚めてしまいます。

夏至を過ぎて急に気温が上がり、今年の梅雨は短かったなあと感じています。二十四節気の小暑は、今年は七月七日でした。例年この時期は、梅雨明けと重なることが多く、本格的な夏の暑さが到来する頃です。今年は暑くなるのが少々早いようですが……。

小暑の頃には、蓮の開花や朝顔が咲き誇るなど、夏ならではの風情が感じられますね。また、集中豪雨にも注意が必要です。

夏ならではの行事が始まっている頃です。この様々な行事には、普段の学習でもあり、山開き、海開き、花火大会などですが、それに伴い事故も発生することがあるので、学校で働くものとしては心配な時期でもあります。

更にこの時期は、暑さに体が慣れていないので、体調管理に気を配り、水分補給をしつかり行なうことが大切です。

最近時間の速さを感じながらも、平和な時間に感謝しつつ、季節の移ろいを感じつつ、自分自身を振り返っています。

活動の様子（写真）を少しだけ紹介します。

## 5年生宿泊教室

6月12日（木）から6月13日

（金）にかけて、5年生の集団宿泊教室が行われました。行先は熊本県立あしきた青少年の家です。1泊2日という日程で行われましたが、子ども達にとって多くの学びがあつた行事でした。

「水俣に学ぶ肥後つ子教室」では正しく知ることの大切さや、今後自分達に何ができるのか、発信できるのかを考える機会となつたようでした。

あしきた青少年の家では、「共感」「交流」「向上」を活動の視点として掲げてあります。この視点に立ち子ども達自身で振り返りをしているようです。この様々な行事には、普段の学習では得ることのできない「学び」があります。学習の場であることを意識していた子ども達には、お金では買えない多くの学びがありました。

今後、子ども達は学んだことを振り返り、これから的生活にどのように活かしていくか、また、解決すべき課題について等々の話し合いをしていきます。そして、学習者として学んだことを後輩達に伝えていくところでしょう。



## プール掃除～プール開き

6月26日から水泳学習が始まりました。水泳がある日は子供達も朝から楽しみにしている様子です。

6月17日（火）に、全児童全職員でプール掃除を実施し、その後、26日（木）にプール開きとなりました。

翌日6月27日（金）に北部九州が梅雨明けとなり、水泳学習にはもつてこいの気候になりました。学校ではしつかり健康観察を行いながら学習を進めて参りますが、ご家庭でも日頃から体調を整えて頂きます様お願い致します。



お世話になりました

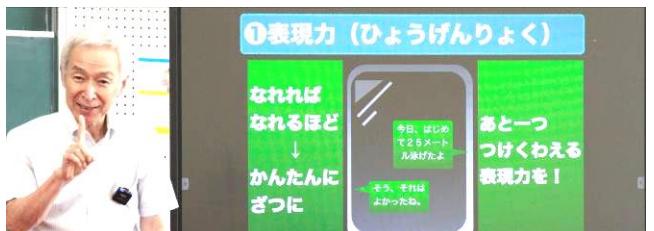
## 授業参観・講演会・学級懇談

7月4日（金）の授業参観、PTA講演会、学級懇談

談に際しまして、保護者の皆様にはお忙しい中、暑い中にお越し頂きまして心より感謝申し上げます。

今回の授業参観は全学級人権学習に取り組みました。人権学習は、相手の心の痛みに寄り添うことでのりきる子供達を育んでいくために、学校全体で、また、1年を通して取り組んでいる学習です。どうぞ、ご家庭でも話題にして頂き、子供達の心の成長を図つて頂ければと思います。

PTA講演会では、戸田俊文先生のお話から、大人も考えさせられる内容ばかりでした。夏休みを前にSNSの有効活用について改めて考えなければならぬと感じたところです。学校は別として、健康体力の向上にも水泳は役立ちますので、シーズン中はしっかりと泳ぎ込んで欲しいと思っています。



## 給食の気付き「お茶碗と箸の持ち方」

筆者世代は、小学校に入学する前からお茶碗と箸の持ち方については、かなり厳しく躾けられたのではないかと思いますが、如何でしょうか。筆者は両親だけでなく、親戚一同からかなりのスパルタで教えられました。おかげで、何となくきちんと使えているかなと思うのですが…。

ある日の給食時間、子ども達のお茶碗とお箸の持ち方に愕然としています。お箸の使い方は、人差し指と中指の使い方が悪いですね。親指、人差し指、中指が連携して始めて、箸の機能が發揮できるのですが、中にはフォークのようにして使う人もいます。また、お茶碗の持ち方ですが、私は人差し指、中指、薬指、小指がお茶碗を支え、親指でお茶碗の縁を固定し、安定させているという持ち方ですが、最近の子ども達の中には、人差し指をお茶碗の縁にかけて、親指、中指、薬指、小指でお茶碗の下を支えるという、アクロバティックな持ち方をする人がいます。

食に関する文化が変わつてきていることは感じているところですが、それにしても、少々心配になつた場面でした。

